

# かみねっちょ新聞

令和元年 11 月号

## ～あなたの知らない飼育員の世界～ アメリカビーバー

水の中で生活するのに便利だからの特徴がいっぱい



### 飼育員やまうち

分類: げっ歯目 ビーバー科  
生息地: 北アメリカ  
森林の河川や湖  
食べ物: 木の葉や枝、樹皮、草など。  
動物園では、サツマイモ、ニンジン、キャベツ、リンゴなど。  
体重: 10～30 kg

水の中をうちわのような尻尾で  
かじをきりグングン進みます

目にはゴーグル  
の役目の透明の  
膜があります

後ろ足には水か  
きがあります

水の中で 15 分くらい  
もぐってられるよ

体毛は密で撥水、  
保温性バツグン

**水辺の一級建築家** ビーバーはコツコツ、せっせととっても働き者。オオカミやコヨーテなど天敵が多いので身を守るために、大きく丈夫な歯で木を倒し、その枝、泥や石を使ってダムを建設します。川をせき止めたダム湖の中に巣を造って安全に暮らしています。

**毛皮を狙った乱獲** ビーバーの体毛は非常にやわらかく毛皮として極上品。そのため寒さをしのぐ服や高級な帽子としての需要が高まり、2億頭いたともいわれている生息数が乱獲により一時は絶滅寸前にまでなっていました。その後、ビーバーハットからシルクハットに代わり、また、保護政策が行われ数は回復しています。(現在 1000～1500 万頭)



野生の巣

**とっても仲良しの2頭** かみね動物園では、オスのコウコウ(9才)とのメスのモグモグ(11才)が暮らしています。夜行性なので昼間はほとんど寝てます。展示場の小屋の中に枝を組んで造った巣で2頭くっついてスヤスヤ。午後夕方前になると起きだしてきて、池の中をスイスイ泳ぐ姿が見られます。



動物園の巣



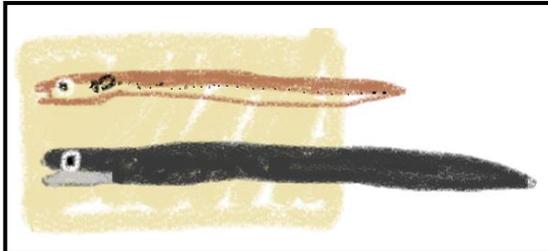
スイスイ～

# ほくらのうみだより vol.2

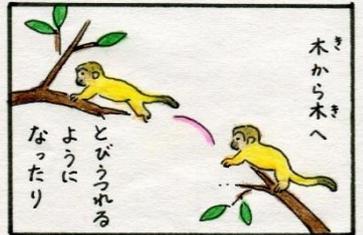
2016年からどうぶつ資料館で始まった、日立の海で捕まえた生き物を展示する日本一小さな水族館「ほくらのうみ」から、オモシロ情報をお届けします！今回は海で釣ったアナゴのお話です！



「マアナゴ」(上)  
茶色っぽい黒色が特徴で最大で九十センチ。お寿司のアナゴ。  
「クロアナゴ」(下)  
灰色っぽい黒色が特徴で最大で百五十センチにもなる。



ある日の夕方、ぼくは川尻漁港で釣りをしていました。その日は運がよく、アナゴが2匹も釣れました。  
家に帰ってアナゴをまな板に乗せたときに、あれ？なんだか2匹の顔が違うぞと思いました。調べてみると「マアナゴ」と「クロアナゴ」だということがわかりました。味はマアナゴの方が美味しかったです。



一日一日でできることがふえていくげんきくんから目がはなせません！

## 12月の予定

アジアゾウ・スズコの誕生日会：8日（日）

クリスマスイベント：21日（土）、22日（日）

詳細はかみね動物園ホームページ <http://www.city.hitachi.lg.jp/zoo/>

または 0294(22)5586 までお問い合わせください



## \*もぐもぐタイムの時間\*

注意：時間変更・中止になる場合もございます。

■は見学のみ

(平日)

(土日祝)



11:00 ペンギン  
11:30 キリン  
13:00 マンドリル  
13:15 カピバラ  
13:30 チンパンジー  
14:30 エゾヒグマ  
15:15 トラ・ライオン  
15:30 ペンギン



11:00 ペンギン  
11:30 キリン  
13:00 マンドリル  
13:15 カピバラ  
13:30 チンパンジー  
14:30 エゾヒグマ  
15:15 トラ・ライオン  
15:30 ペンギン



※エゾヒグマのおやつタイムは水曜日はお休みします。  
※は虫類とのふれあいは土日祝の11時から12時となります。